

令和6年度 日本大学危機管理学部 個人研究費 研究実績報告書

所属：危機管理学部 危機管理学科

資格：教授

氏名：瀧川 修吾

<p>研究課題名</p>	<p>(1) 幕末から明治初年における征韓論・アジア雄飛論の研究, (2) 現代行政の諸相 (日本の国際化と外国人政策に関する研究, 権利擁護を支える制度) (3) 高大連携を視座に据えたアフターコロナの社会科学教育の研究等</p>
<p>研究目的及び研究概要</p>	<p>今年度も引き続き, 平和研究のための政治史・思想史研究として (1) 幕末から明治初年における征韓論・アジア雄飛論の研究に取り組んだ。また, 現代政治や行政に関する知見も深めるべく, これまで取り組んできた (2) 日本の外国人受け入れ政策や権利擁護につき, 引き続き研究を深めた。さらに, (3) アフターコロナに相応しい社会科学教育のありかたについて高大連携・接続を視野に入れた研究を, 鋭意進めた。</p>
<p>研究実績の概要</p> <p>研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等</p>	<p>まずは, (1) と (2) に関連して「日本における国際人流の歴史的考察～幕末編」(『国際人流』2024年8月号NO. 417) を執筆した。</p> <p>また, (3) に関連して「池田隼人と現代日本～リーダーシップの遺産(教育政治学の視点から)」というタイトルで日本臨床政治学会2024年度・東京大会第I部研究セッション「自民党首脳思想と行動」(専修大学神田校舎10号館12階1012Aゼミ室・2024年4月27日)において学会発表を行った。</p> <p>さらに, (1) に関連して「あなたの知らない「明治維新」～征韓論はなぜ登場したのか～」というタイトルで・相続寺子屋東京・日本を相続する会共同開催 第195回【相続寺子屋 東京】(すみだ産業会館 会議室5・2024年7月19日)において講演会を行った。</p>